

Nr.3 ドイツ語で戯曲を読んでもみよう 【初級・中級講読】

■内容

この講座は、ドイツ語の基礎的な文法事項を一通り学んだことがある方を対象としています。本講座では、ドイツ語で書かれた戯曲を読みながら、ドイツ語の文章を読むうえで気を付けるべきことや、接続法などの発展的な文法事項を確認していきます。戯曲は小説と異なり、ト書きを手掛かりに場面を把握することができるので、ドイツ語を読んだ経験が少ない方でも読みやすいのが特徴です。

ドイツ語購読の経験は問いません。「ドイツ語の文法を一通り習ったけれど、ひとりでドイツ語を読むとわからないことが出てくる」、「文法の学習が終わって、ドイツ語をスムーズに読めるようになりたいが、時間がかかってしまうことが多い」という方におすすめの講座です！

■教材

ドイツの劇作家ベルトルト・ブレヒト Eugen Berthold Friedrich Brecht (1898-1956) の戯曲『ガリレオの生涯 (Leben des Gallilei)』からいくつかの部分を選抜し、5日間かけて読みます。このテキストには1938/1939年の「デンマーク稿 (Dänische Fassung)」と1954年の「ベルリン稿 (Berliner Fassung)」の二つが存在し、改稿によってガリレオの行為の位置づけが変わっていることで知られています。授業では、デンマーク稿をメインで扱いながら、適宜ベルリン稿とも読み比べます。

一日あたり400語程度の文章を読みます。語彙集・注釈をテキストと一緒に配布するので、事前にテキストを読んでからご参加ください。

■シラバス

- 1日目 (8月5日) : Leben des Gallilei (Dänische Fassung) ①
- 2日目 (8月6日) : Leben des Gallilei (Dänische Fassung) ②
- 3日目 (8月7日) : Leben des Gallilei (Dänische Fassung) ③
- 4日目 (8月8日) : Leben des Gallilei (Dänische Fassung) ④
- 5日目 (8月9日) : Leben des Gallilei (Dänische Fassung) ⑤

■講師紹介

池田圭佑 (東京外国語大学博士前期課程2年)

専門はドイツ語の言語学で、「sein + zu 不定詞」構文が、知覚動詞 hören と結びついた時の解釈を研究しています。東京外国語大学言語文化学部ドイツ語専攻を卒業後、同大学院に進学しました。